

2023年12月19日

種苗検査に係る規程改正について (令和6年1月から施行)

農研機構 種苗管理センター 種苗検査課

NARO

- (1) 依頼検査受付システムへの移行
- (2) 病害検査の検査項目の拡大
- (3) 国際種子検査証明書用の台紙費用の改正
- (4) 検査手数料の改正

依頼検査受付システムについて

2024年1月16日より、種苗検査のご依頼が「種苗検査依頼システム」によるオンラインでのお申し込みとなります。

これに伴い、2024年2月1日からは従来の検査依頼書（紙媒体）による受付を原則廃止※させていただきます。

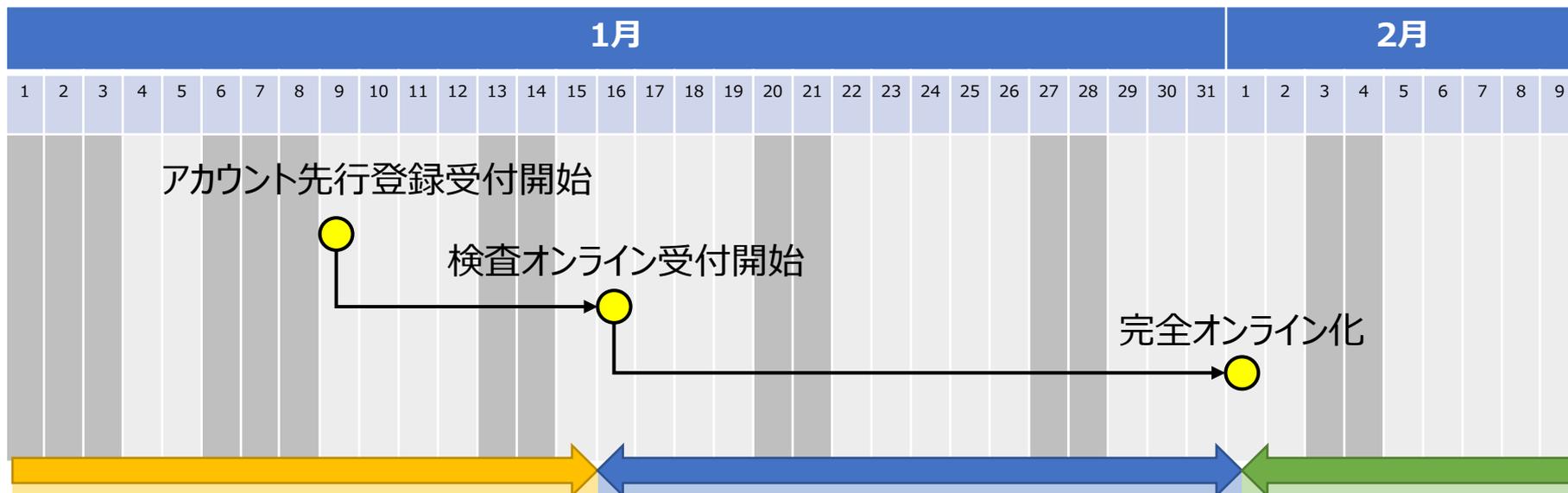
オンラインでの受付となる検査

- ① 国内向け種子検査（農作物種子検査依頼書（A））
- ② ISTAブルー／オレンジ検査（農作物種子検査依頼書（B））
- ③ 登録検査機関検査業務（輸出検査）

※ システム停止など非常時には紙で受付の旨をお知らせ・ご案内します。

オンラインでのご依頼開始のスケジュール

2024年



1月9日～15日まで

- 従来と同様、紙の依頼書にて受け付けます。
- 先行してアカウント登録を**1月9日**から開始します。
- ご予約は電話またはメールにて承ります。

1月16～31日

- 紙の依頼書、オンラインからのご依頼のどちらからも受け付けます。
- 病害検査、オレンジ検査のご予約はオンラインのみとなります。

2月1日以降

- オンラインからのご依頼のみの受付となります。

紙でのご依頼は1月31日（水）必着でお願いします。

ご予約分（病害検査）について

2024年

1月																															2月								
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9

1月19日スタート分まで

切替作業のため、**紙の依頼書**にて**1月12日**
必着でお送りくださいますようお願いいたします。

1月22日以降スタート分

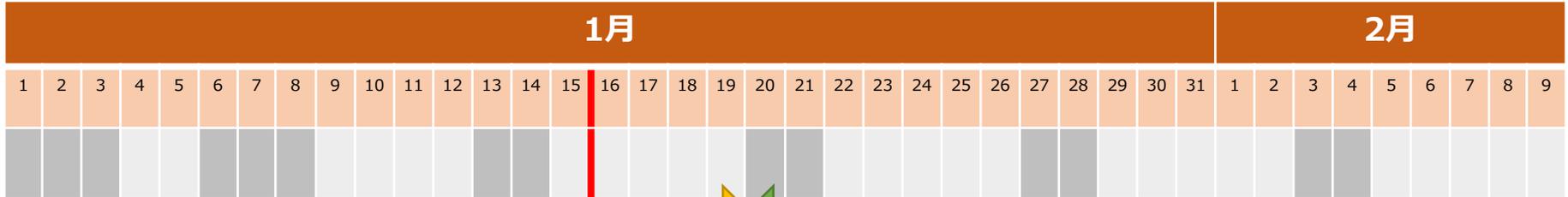
- ① 1月15日までにアカウント登録した方
個別に予約番号をお知らせします。
- ② 1月16日以降にアカウント登録した方
システムより「〇月〇日スタート分BFBの5点」
などご入力の上、システムから予約手続きをお願い
いたします。

ご予約は2ヶ月先まで承ります。

電話またはメールでのご予約は3月14日スタート分までとなります。

ご予約分（オレンジ検査）について

2024年



1月19日サンプリング分まで

切替作業のため、にて**1月12日までに日程調整**をお済ませの上、**紙の依頼書**をお送りいただくか、サンプリング担当にお渡しいただけますようお願いいたします。

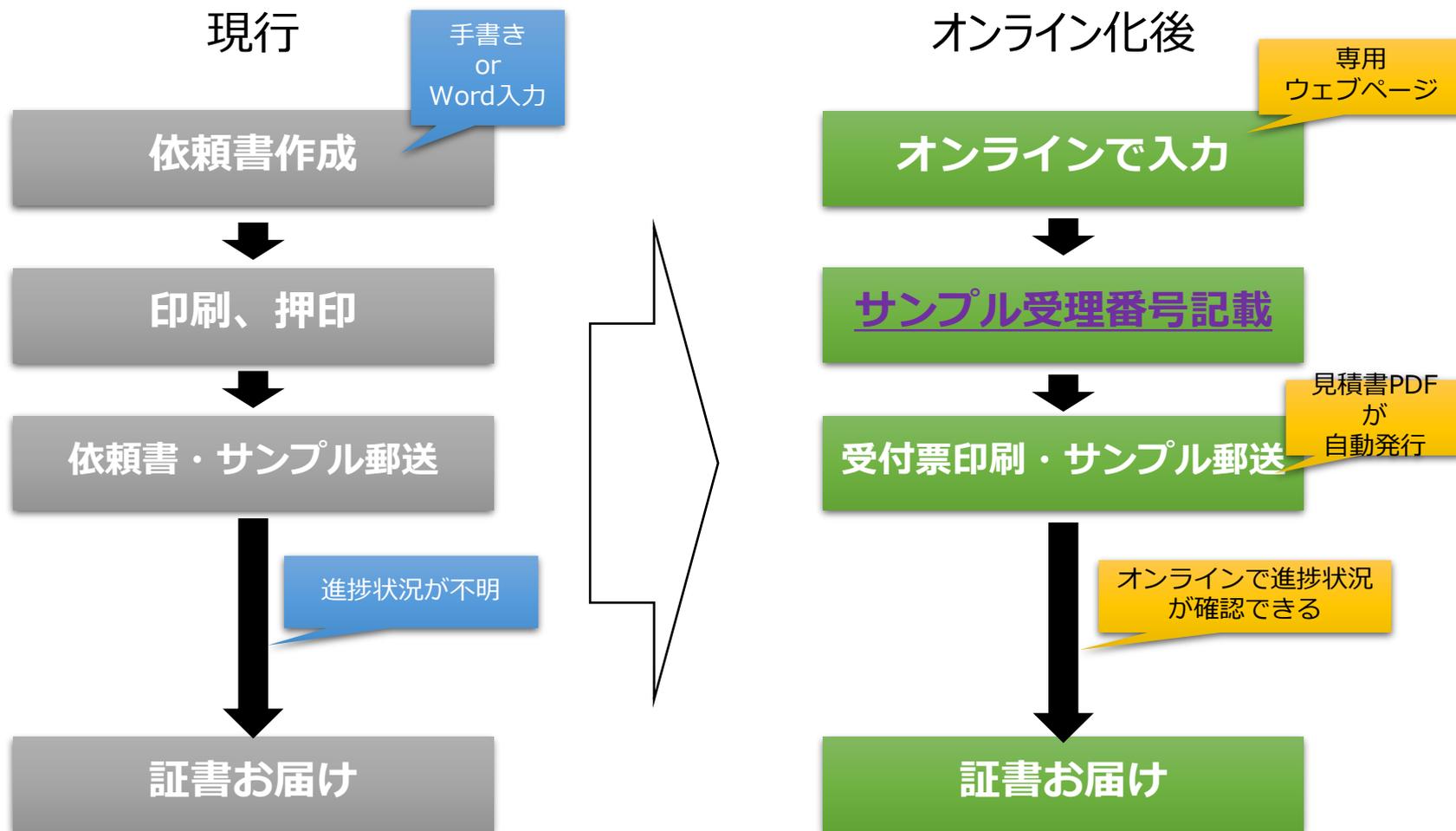
1月22日以降サンプリング分

- ① **1月15日までにアカウント登録した方**
個別に予約番号をお知らせします。
- ② **1月16日以降にアカウント登録した方**
システムより「〇月〇日サンプリング希望」などご入力の上、システムから予約手続きをお願いいたします。

確実なサンプリング作業実施のため、**サンプリング予定日の1週間前**までには予約をお済ませいただけますようお願いいたします。

ご依頼の手順が一部変わります

オンライン化に伴い、これまでのご依頼手順が一部変更になります。



受付票とサンプル番号の記入について

受付票を印刷・ご確認の上、依頼者様ご自身で種子サンプルに「受理番号※」を記載してください。

※受理番号は受付処理のほか、システム上でのお問い合わせにも必要な番号となります。

受付票（自動発行されます）

ご依頼番号 1/1ページ

農作物種子検査 (A) 国内向け証書 受付票 (兼 見積書)

農研機構 様 2022-06-15 08:30:21.234899+00:00

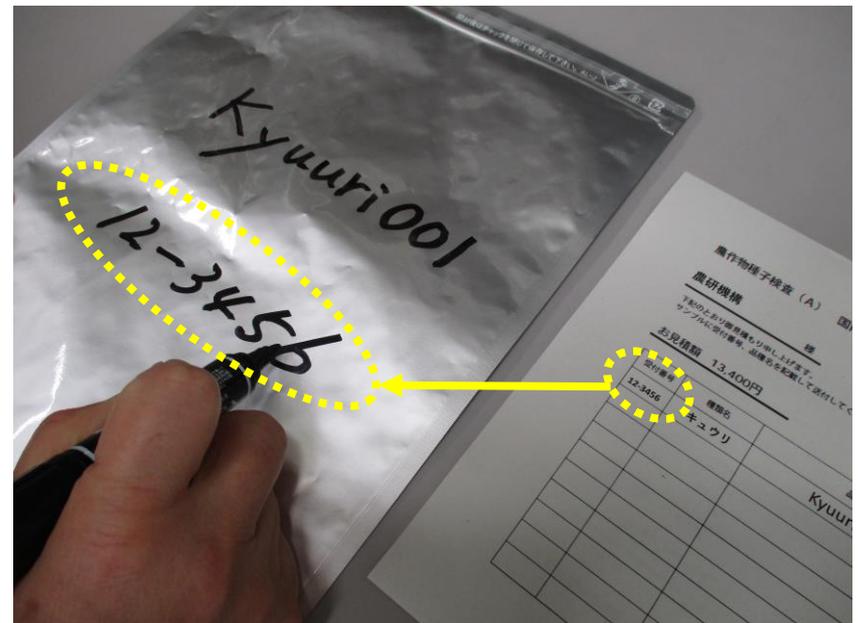
農研機構
農研機構
下記のとおり御見積もり申し上げます。
サンプルに受付番号、品種名を記載して送付してください。

農業・食品産業技術総合研究機構
種苗管理センター
試験・検査部 種苗検査課

お見積額 13,400円

受理番号	種類名	品種名	検査項目	和文写し	英文写し	料金
12-3456	キュウリ	Kyuuri001		0	0	13,400

サンプルの包装に受理番号を記載してください



デモンストレーションにて
説明いたします。

同内容は「依頼検査受付システムご利用マニュアル」
でもご覧いただけます。

検査進行状況の一覧

処理状況 (ステータス)	状態
受付待ち	ご依頼は送信され、種苗管理センター側による受付処理を待っている状態です。ご依頼内容によっては電話等で問合せをさせていただく場合があります。
サンプル受領待ち	種子サンプルの到着を待っている状態です。受付票と種子を同梱してお送りください。
検査中	種子サンプルが到着し、検査を実施中、または準備をしている状態です。
検査終了	全てのサンプルの検査が終了し、証書を作成している段階です。概ね5営業日以内に証書が発送されます。
証書施行済み	証書が発送された状態です。通常1～2日でお手元に証書が届きます。



電子化 メリット

- ✓ 検査ご依頼の手続がオンラインで簡素化
- ✓ サンプル番号で進行状況が確認できる
- ✓ 見積書が取得できる
- ✓ 検査依頼の履歴が一覧できる

オンライン化によりお客様、当センターともに手続の迅速化、省力化が可能となります。ぜひご利用ください。

病害検査の検査項目の 拡大について

(2) 2024年1月より病害検査の受付を開始する検査項目

検査対象病原体	<i>Pss</i> *1	<i>Psm</i> *2 及び <i>Pca</i> *3	<i>Xcc</i> *4
対象野菜種子	カボチャ	アブラナ属野菜	ダイコン
病名	果実斑点細菌病	黒斑細菌病*5	黒腐病
検査粒数	10,000粒	30,000粒	10,000粒 (既存の培養法による検査は30,000粒)
検査方法	洗浄液培養法		Seed Wash-PCR法
検査日数	2週間	3週間	0.5週間
検査手数料*6	43,600 円	35,600 円	14,900 円 15,300 円

*1 : *Pseudomonas syringae* pv. *syringae*

*2 : *Pseudomonas syringae* pv. *maculicola*

*3 : *Pseudomonas cannabina* pv. *alisalensis*

*4 : *Xanthomonas campestris* pv. *campestris*

*5 : 現行ではダイコンのみ検査を受け付けております。

*6 : 規程改正前により、予定額となります。

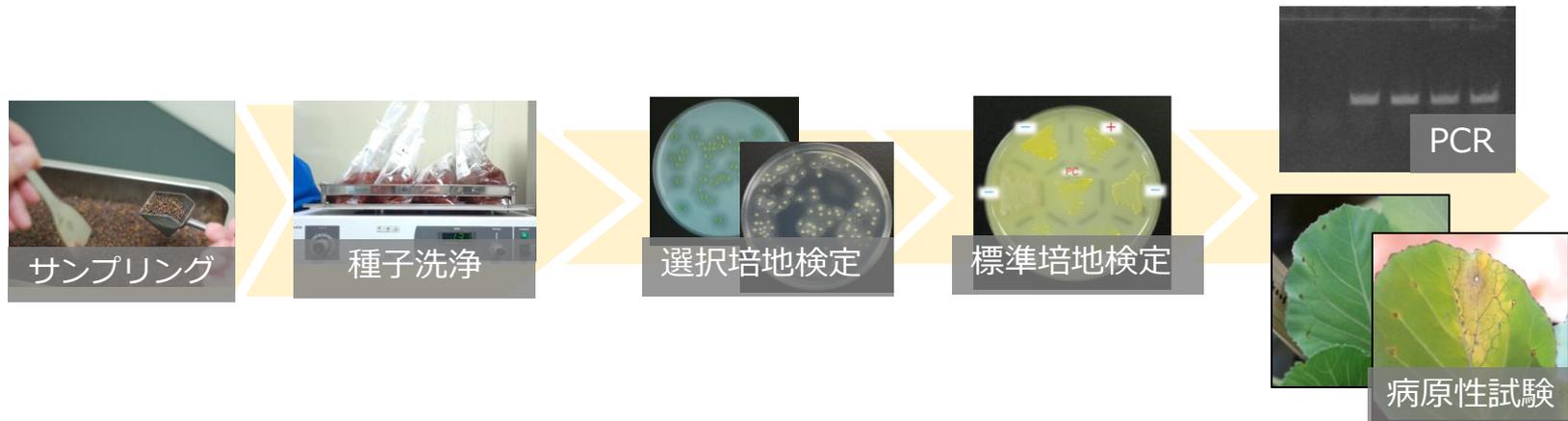
洗浄液培養法について (Pss,Psm,Pca,Xcc)

種子の洗浄液を**選択培地**に塗布し、
培地上に形成されたコロニーのうち
対象病原体と疑われる性状を有するコロニーについて、
PCRと**病原性試験**の一方もしくは両方を実施して判定します。

検出感度 (汚染種子粒数/サンプル粒数)

Pss : 1粒 / 1000粒 Psm,Pca : 1粒 / 10000粒

Xcc : 1粒 / 10000粒 (既存の検査項目)



種子の洗浄液からDNA抽出し、qPCRを実施して判定します。

- 洗浄液培養法と比較して、**検査日数が短縮されます。**
- DNAの検出になるため、菌の生死判定はできません。
プレスクリーニングとしてご利用ください。
- 種子処理されたサンプルについては検査できません。
- 既存の洗浄液培養法で陽性と判定されたサンプルを確実に検出できる精度を有しています。



(2) 2024年1月より病害検査の受付を開始する検査項目

検査対象病原体	<i>Pss</i> *1	<i>Psm</i> *2 及び <i>Pca</i> *3	<i>Xcc</i> *4
対象野菜種子	カボチャ	アブラナ属野菜	ダイコン
病名	果実斑点細菌病	黒斑細菌病*5	黒腐病
検査粒数	10,000粒	30,000粒	10,000粒 (既存の培養法による検査は30,000粒)
検査方法	洗浄液培養法		Seed Wash-PCR法
検査日数	2週間	3週間	0.5週間
検査手数料*6	43,600 円	35,600 円	14,900 円 15,300 円

*1 : *Pseudomonas syringae* pv. *syringae*

*2 : *Pseudomonas syringae* pv. *maculicola*

*3 : *Pseudomonas cannabina* pv. *alisalensis*

*4 : *Xanthomonas campestris* pv. *campestris*

*5 : 現行ではダイコンのみ検査を受け付けております。

*6 : 規程改正前により、予定額となります。

(3) 国際種子検査証明書用の台紙費用の改定

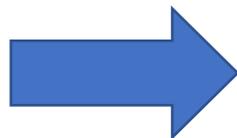
①改正理由

国際種子検査協会（ISTA）の規程に基づく検査は、種苗管理センターがISTAから購入した国際種子検査証明書用の台紙に検査結果を印刷し交付しています。

今年のISTA年次総会で台紙の値上げが決定したため、種苗管理センターが検査結果の交付に際して徴収する同証明書用の台紙費用を値上げします。

改正前

316円（税込）/枚



改正後

699円（税込）/枚

②適用時期

令和6年1月4日以降の検査依頼書到着分から、改正後の台紙費用（699円/枚）を徴収いたします。

(4) 検査手数料の改正

①改正理由

今回の依頼検査受付のシステム化に伴い、検査手数料にシステム保守費用を積算します。

②改正対象の検査項目

ア 種苗検査実施規程

別表2（依頼検査の要する手数料額等の額）の検査項目のうち
「発芽検査」「純潔度合検査」「含水量検査」「異種の粒数検査」「病害検査」

イ 登録検査機関業務規程

別表3（輸出検査（病害検査に限る）に係る料金の検査項目

③適用時期

令和6年1月4日以降の検査依頼書到着分から、改正後の検査手数料が適用されます。

(参考 1) 説明資料の掲載場所について



農研機構

▶ サイトマップ ▶ お問い合わせ ▶ English



Google 提供

検索

農研機構について

研究情報・SOP

産学連携・品種・特許

プレスリリース・広報

採用情報

ホーム / 種苗管理センター / 農作物の種苗検査

種苗管理センター

農作物の種苗検査

種苗は、その外観から品種、発芽率等の品質や生産地を識別することが困難です。そのため、我が国では種苗法において、農林水産大臣が農作物の中でも重要な種苗を「指定種苗」と定め、その販売には一定の事項の表示を種苗業者に義務付けることにより、種苗の流通の適正化を図っています。

種苗管理センターでは、種苗法に基づき種苗業者に対して表示検査や集取した種子の品質検査を実施しています。

種苗業者等の依頼に応じ、国際種子検査協会(ISTA)の承認検査所として種子の品質証明書の発行を行っています。

平成23年度3月の福島原子力発電所の事故後は、海外へ輸出する種子について、生産履歴に関する証明書を発行しています。また、農作物を対象とした放射性物質検査を行い、検査報告書を発行しています。

農林水産大臣の指示を受けて行う業務としてEC(現EU)向け輸出野菜種子の品種維持に係る公的管理に関する要領に基づく検査、カルタヘナ法に基づく立入検査があります。

依頼検査の実施について

種苗管理センターでは、種苗全体の流通の円滑化を目的にして、依頼者からの依頼により、飼料作物を除く種子の品質に係る検査(発芽率、純潔度合、含水量、異種の粒数及び病害)並びに品質証明書(検査報告書及び国際種子検査証明書)及び放射能濃度についての検査報告書の発行を行っています。放射性物質の検査においては、種子等の検査報告書を発行できます。種苗管理センターが交付する検査報告書及び国際種子検査証書は、種子を取引きする際の品質に係る公的証明として使用されています。

新着お知らせ

【2023.12.19 種苗検査実施規程改正等に関する説明会のお知らせ】 令和6年1月1日付け種苗検査実施規程の改正、及び依頼検査のオンライン化に関する説明会を実施します。詳細、参加申込については本ページ下部をご確認ください。

種苗管理センター

- ▶ アクセス
- ▶ 概要

(参考2) 説明に関する問合せについて

(1) 資料の掲載場所

種苗管理センター「農産物の種苗検査」のホームページ

<https://www.naro.go.jp/laboratory/ncss/shubyokensa/index.html>

(2) お問い合わせ先

(Mail) irai@ml.affrc.go.jp

(電話) 029-838-6585